



<白水小学校の教育目標> 『自立 貢献 挑戦』

～「自分は何ができるのか」を考え実行することができる子どもの育成～

1月9日 後期後半を始めることができました

今年の元旦は、石川県能登半島地震に心を揺さぶられました。多くの尊い命が奪われ、今も安否不明の方がいらっしゃいます。また、2か月にわたる集団避難の選択を迫られた中学生とご家族もいらっしゃいます。色々な葛藤があったことと思います。一日も早く普段通りの生活に戻れることを心から願っています。

さて、私たちは1月9日、後期後半を迎えることができました。当たり前の日常を送ることができることに感謝し、一日一日を大切に過ごしたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

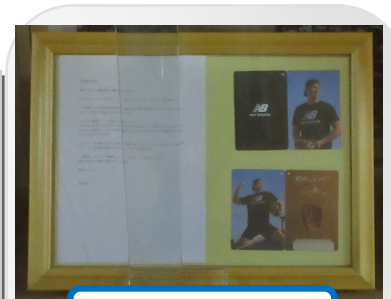
大谷選手からグローブが届きました

1月9日の全校集会で、大谷選手から送られたグローブを児童代表の運営委員会の子どもたちに渡すことができました。グローブと一緒に大谷選手からのメッセージが同封されていたので、子どもたちに紹介しました。

～大谷選手からのメッセージ（原文）～

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

大谷選手からのメッセージは、子どもたちの心にしっかりと届きました。グローブの使用については、運営委員会の子どもたちが考えた的当て。グローブをはめて的に向かってボールを投げ、返球されたボールをキャッチするという遊びです。最初にグローブをはめて遊んだ学級の子どもたちからは、歓声が上がりました。グローブは、思っていたより軽く、使いやすかったようです。感謝の気持ちで大切に使うことができることと思います。



メッセージ



送られたグローブ



的当の様子